

2016年8月  
受講生募集!



# Peace Boat Global University

多様性を知る!

英語を使う!

現地に学ぶ!

## ピースボート地球大学

特別プログラム

2016年8月15日(月)～8月29日(月)

[15日間：8/15 東京集合・8/29 シンガポール解散]

### 「人間の安全保障へ 課題の解決策を探る」 Finding Solutions to Human Security Challenges

今日アジア諸国が直面する課題の多くは、これまでのような国家を主体とした安全保障の枠組みだけでは対処しきれないものです。近年だけでも地震や難民問題、感染症の大流行など、一国では到底解決できない事態が数多くおきています。さらに地球温暖化や環境汚染、金融危機や核問題は、対応を誤れば人間の安全保障を根本から脅かします。グローバル化や技術の進歩の結果、社会は豊かで便利になりましたが、このような変化によってリスクもまた拡散しやすくなりました。このようなリスクをゼロにすることはできなくても、紛争や災害、その他の危機を予防し、軽減することはできるはずですが、このプログラムでは、人間の安全保障上のリスクがどのような時に実際の脅威となるのか、そのしきみを解明することで、国をこえて、学問分野をこえて、人々が主体となって人々の暮らしをどのように守っていきけるのかを考えます。

グローバル人材育成のための  
ピースボートの  
教育プログラムです。



# アジアから、世界を変える

ピースボート地球大学は「地球一周の船旅」を活用した短期集中型の英語でのグローバル人材育成プログラムです。訪れる各地域での現場体験と洋上ゼミを組み合わせ、地球規模の問題を自分の問題として考える視点を養い、理解を深めていきます。専門知識を武器に、現場の声を確実にひろいながら、思いやり(empathy)と情熱(passion)をもって地球規模の課題を解決に導ける人材、先の見えない社会を牽引していく未来のリーダーのために、ピースボート地球大学特別プログラムを開講します。

※「ピースボート地球大学」は、NGOピースボートがコーディネートする教育プログラムです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。



このプログラムに参加して、学ぶだけでなく自分自身が問題の解決に関わりたい、関わらなければならないようになりました。  
[2014年参加 東京外国語大学 星野純]



## プログラムの特徴

### 多様性を知る!

地球大学にはアジア太平洋各国から参加者が集まります。バックグラウンドや専門の違う参加者と経験や意見を交わすことで、物事にはいつもの見方があることを知り、様々な視点を比較・統合していく力を養います。

### 英語を使う!

語学は学びのツールです。英語「を」学ぶのではなく英語「で」学ぶのが地球大学。ディスカッションやプレゼンテーションも行います。各地のアクセントに触れながら、グローバルコミュニケーションの力を鍛えます。

### 現地に学ぶ!(エクスポージャー)

エクスポージャー(現地実習)を通して平和や人権、環境問題を検証し、現地に暮らす人々とともに解決策を考えます。「かわいそう…」から「私が変わる!」に変わる。それが平和な社会を築く当事者への第一歩です。

## ナビゲーター

KIM Kyungmook  
**金敬黙** [中京大学教授(2016年3月まで)  
早稲田大学教授(2016年4月就任予定)]  
東京・ソウル育ちの韓国人。2015年度まで中京大学国際教養学部で平和論、地球市民社会論等を教える。日本国際ボランティアセンター(JVC)およびオックスファム・ジャパン理事。著書に金敬黙他「私、北朝鮮から来ました ハナのストーリー」(アジアプレス出版、2016年)他。博士(東京大学)

OSHIDARI Kenro  
**忍足謙朗** [国連世界食糧計画(WFP)  
元アジア地域局長]  
30年以上にわたり国連に勤務し、人道支援、開発支援の現場で活躍。WFPではボスニア紛争、コンゴ紛争などの紛争地、内戦時代のカンボジア、スーダン共和国等で大規模な緊急支援の指揮をとる。2009年から2014年、WFPアジア地域局長を務め、アジア14か国の支援の総責任者となる。

## コーディネーター

KAWASAKI Akira  
**川崎哲** [NGOピースボート共同代表/  
核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)  
国際運営委員]  
東京都出身。平和、軍縮のアドボカシー活動をしながら恵泉女学園大学や立教大学で教鞭をとる。2009年、核不拡散・核軍縮に関する国際委員会でNGOアドバイザーを務めた。著書に「核拡散」(岩波書店)、「核兵器を禁止する」(岩波ブックレット)など。

## ピースボート地球大学を応援しています!

**ジェニー・オーリン**  
[武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ(GPPAC)プロジェクトマネージャー]

**ジャヤンタ・ダナパラ**  
[スリランカ大統領上級外交顧問/  
元軍縮問題担当国連事務次長]

## ピースボート地球大学では多くの大学と協力しています

- 東京外国語大学の「コンフリクト耐性」育成プロジェクトのスタディツアーに採択されました(2014-2016年度)
- 東京大学GEfILプロジェクトの奨学金付き海外サマープログラムに採択されました(2015年度、2016年度)
- その他過去には韓信大学校(韓国)や中国外交学院(中国)などからも学生が参加をしています。

## プログラム概要

テーマ **1** 人間の安全保障とは～枠組みと課題～

グローバル化や技術の進歩によって相互依存が高まる中で、環境破壊や感染症、貧困問題などが人々の命や生活を脅かす時代になりました。このような問題を「人間の安全保障」という観点からとらえ直す必要性が高まっています。もっとも解決が急がれる課題を見極め、国家以外のアクターにも注目しながら21世紀の安全保障を考えます。

テーマ **2** 災害のリスクを減らすためには

世界各地で台風、地震、洪水などの自然災害が目立ちます。自然災害そのものをなくすことはできませんが、被害を少しでも軽減するためにできることは多くあります。地方自治体や国家、国際組織それぞれの役割を考え、新しい技術の可能性にも触れながら、人やモノになるべく被害が及ばないような防災・減災のしくみを話し合います。

テーマ **3** 感染症対策を見直す

世界規模で広がる感染症の被害は計り知れません。アジアではSARSの悪夢はまだまだ色濃く、鳥インフルエンザもまた人々を恐怖に陥れました。国境をあまりにも易々と越える感染症という脅威と向き合うためには、国家間の協力はもちろん民間企業などの参画も大切です。次の感染症に備えるために今からどのようなことができるでしょうか。

テーマ **4** 移民と難民危機

様々な理由で国を追われた人たちに最低限の生活を保障することは、人道的な観点からも当然なされるべきことです。しかし、国境を守るという国家の目的と、国外の難民に手を差し伸べるということのどちらかを叶えるのは簡単ではありません。移民問題が難民危機へと発展する前にできることはないのでしょうか。

## エクスポージャー(現地実習)

### 東京 [8月16-17日] 大都市における貧困を「見える化」する

東京は世界でも有数の大都市です。しかし華やかな都市の影で、自分たちではどうすることもできない構造的な貧困のしくみに陥ってしまう人たちが年々増えています。このエクスポージャーでは山谷地区を訪れホームレスの人々をとりまく環境について当事者に直接教えてもらいます。また、新宿での夜回りを通して、より若い世代が経験するネットカフェ難民などの新しい形の貧困についても考えます。さらに、東日本大震災のような大規模な災害が起きた際に、いかにして貧困が被害を増長し、災害が貧困を増長するかについても話し合います。

### 基隆(台湾) [8月22日] 都市化が脅かす人間の安全保障を考える

経済成長が進むアジアの都市の多くでは、都市化が進めば進むほど産業がもたらす公害やリスクも深刻化します。台北においても、経済が発展することにより人々の生活が便利になる一方で、環境汚染が進み、社会的に地位の弱い人たちが経済発展の代償を押し付けられる構図が顕著になっています。このエクスポージャーでは基隆から台北に向かい、このような問題に取り組む現地のNGOに話を聞きます。開発、都市化、環境汚染などが台湾においてどのような関係にあり、人間の安全保障の観点からはどのようなアプローチが可能なのかを考えます。

### シンガポール [8月28-29日] 国境にとらわれない課題の解決を模索する

環境汚染や感染症、難民問題などの課題の解決には、国境にとらわれない柔軟なアプローチが求められています。このエクスポージャーでは、シンガポールに暮らす移民労働者を支援する活動を行うTransient Workers Count Too (TWC2)の受け入れで、労働移民の問題が決して一国の努力だけでは解決できない現状を学びます。また、アジアとヨーロッパの政府とともに様々な国際問題の解決に取り組むアジア欧州財団を訪れ、地域主義的なアプローチやマルチステークホルダー・プロセスなどの手法について教えてもらいます。

## 船ならではの新しい学びの形

船の上は国境のない自由な言論空間です。このユニークな環境をいかし、地球大学では通常の教育の現場ではなかなか取り入れられない手法を多く実践しています。シナリオワークショップでは、国籍やバックグラウンドの異なる学生が、グループごとに未来のビジョンをえがきます。そして30年後、50年後のアジアや世界がどうなっているかをともに考えます。課題発掘・課題解決ワークショップでは、船内環境における「課題」を学生らが自ら探し出し、当事者らと折衝を重ねながら課題を解決に導きます。このような参加実践型のプログラムを通じて、アジアの未来を具体的に考え、人間の安全保障を実現するためにどのような地域レベル・国際レベルでの取り組みができるのかを考える力を養います。



## 旅行代金

(大人お一人様代金)

# 267,300円

※別途、船内チップ5,500円、ポートチャージ5,400円が必要です。また、査証取得費用は自己責任・自己負担となります。 ※集合地まで、解散地からご自宅までの交通費は含まれません。日本在住で、帰国便送での手配をご希望の方は別途ご相談ください。

●最少催行人員:5名 ●使用客船:オーシャンドリーム号 ●利用予定宿泊ホテル:[東京都内]ホテルサンルート高田馬場[シンガポール]ザ・プロット・ホステルズ、YMCAインターナショナル・ハウス・シンガポール ●食事:朝食14回、昼食14回、夕食14回 ●添乗員:本船以外は同行しませんが、現地係員がお世話します。

0:00～ 4:00～ 6:00～ 8:00～ 12:00～ 18:00～ 23:00～

深夜 早朝 朝 午前 午後 夜 深夜

## 応募から参加まで

### ① 応募書類の提出

#### ■応募資格

- 参加者は以下の応募資格の②から④のすべてを満たす方の中から選抜されます。
- ②本プロジェクトの趣旨に賛同し、「2016年8月地球大学特別プログラム」の全行程に参加できること。
  - ③2016年8月15日時点で18歳以上35歳以下であること。
  - ④ディスカッションを含む英語でのプログラムに支障なく参加できる語学力を有すること。
  - ⑤アジア太平洋地域に関して、以下のいずれかひとつを満たすこと。
    - ①いずれかの国籍を持つ。
    - ②いずれかの国に関して強い関心を持ち、過去に研究や活動の経験を有する。
    - ③いずれかの国に在住し、勉強をしたり、働いたりしている。
  - ⑥年代や国籍を問わず、他の参加者と協力しながら活動できること。
  - ⑦プロジェクト参加後もトピックに関して活動を続けていく意欲を有すること。

#### ■応募書類提出方法

件名を「地球大学特別プログラム 応募用紙希望」として、下記のメールアドレスにメールをお送りください。ピースボート事務局より、応募用紙をお送りします。必要事項を記入し、締切日までにメールにてご提出ください。応募用紙はピースボートの英語のサイトからもダウンロードできます。(www.peaceboat.org/english)

#### お問い合わせ・応募書類提出先

Email: univ@peaceboat.gr.jp

Tel: 03-3363-7561 Fax: 03-3363-7562

#### ■締切日

**第一締め切り** 2016年4月30日[土] 日本時間 | 17:00必着

**第二締め切り** 2016年5月31日[火] 日本時間 | 17:00必着

※毎回の締め切りごとに審査を行い、締め切りから2週間以内に合否を通知します。

### ② 受講の可否

#### ■選考方法

受け付けた応募書類を、上記「応募資格」の観点から審査します。審査の必要に応じて、個別に面接をさせていただく場合があります。結果はピースボート事務局よりご連絡します。

### ③ 申込書の提出

#### ■旅行のお申し込み

「2016年8月地球大学特別プログラム」申込書を(株)ジャパングレイスにご提出ください。

## 旅行日程

日	日	スケジュール	食事	宿泊
8/15	月	午後 東京都内に集合	夕	東京都内のホテル泊
8/16	火	終日 エクスポージャー	朝昼夕	
8/17	水	終日 エクスポージャー	朝昼夕	オーシャンドリーム号泊
8/18	木	朝 横浜へ移動 午前 横浜にて本船に乗船 午後 横浜港出航	朝昼夕	
8/19	金	クルージング 洋上ゼミ	朝昼夕	オーシャンドリーム号泊
8/21	日			
8/22	月	午前 基隆(台湾)入港 終日 エクスポージャー 深夜 基隆(台湾)出港	朝昼夕	シンガポールのホテル泊
8/23	火	クルージング 洋上ゼミ	朝昼夕	
8/27	土			
8/28	日	朝 シンガポール入港 午前 本船を下船 終日 エクスポージャー	朝昼夕	
8/29	月	午前 エクスポージャー 午後 シンガポールにて解散	朝昼	

## 旅行条件(要旨)

お申し込みの際は、別途お渡しする旅行条件の内容をご確認の上お申し込みください。

本旅行条件は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

#### 1. 募集型企画旅行契約

本旅行はNGOピースボートがコーディネートし、(株)ジャパングレイス(以下当社といいます)が企画・実施する旅行です。お客様とは当社と募集型企画旅行契約を締結するものです。

#### 2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入の上、申込金として旅行代金の10%に当たる金額をそえてお申し込みください。当社が申込書と申込金の受領が確認できた時点で正式なお申し込みとなります。

#### 3. 旅行代金に含まれるもの

- ① 旅行日程に明示した船舶、列車、バス等の運賃。特に記載がない限り列車は普通車です。
- ② 旅行日程に明示した船内宿泊。 ※船室:フ렌ドリバージェット(4人相部屋、窓無し、シャワー・トイレ完備)
- ③ 旅行日程に明示したホテルの代金。ホテルは二人部屋に2名様様の相部屋となります。
- ④ 旅行日程に明示した食事代。
- ⑤ 旅行日程に明示した洋上ゼミとエクスポージャー費用。
- ⑥ 船船の手荷物運搬料。
- ⑦ 添乗員および現地係員の同行費。

#### 4. 旅行代金に含まれないもの

前項3項以外は旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示します。

- ① 渡航手続費用、寄港地のポートチャージ、船内及びホテルでのチップ
- ② 査証代
- ③ クリーニング代、電話・ファックス・インターネットなど通信費、飲み物代など個人的費用
- ④ 海外旅行保険

#### 5. 取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することが出来ます。

- ① 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日前以降31日前まで……旅行代金の10%
  - ② 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日前以降10日前まで……旅行代金の20%
  - ③ 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって9日前以降旅行開始日まで……旅行代金の50%
  - ④ 旅行開始後の解除または無連絡不参加……旅行代金の100%
- 本旅行の使用客船は貸し切り船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係わる旅行代金の払い戻しはありません。

#### 6. その他

- ① 海外旅行保険への加入を条件とします。
- ② 外務省のホームページでは、「海外安全虎の巻」という冊子をご覧ください。海外旅行でのトラブルを防止するポイントが多数紹介されておりますので、出発前是非ご一読ください。  
(http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph\_01.html)
- ③ 旅券(バスポート)はシンガポール到着時に6ヶ月の残存期間があるもの。
- ④ 記載事項は2016年1月4日を基準としております。

### お申し込みは…



#### (株)ジャパングレイス本社営業所

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13マリンビル2F  
TEL:03-5287-3081(10:00-18:00 定休/土日祝) FAX:03-5287-3083(24時間受付)  
総合旅行業務取扱管理者:延原和正・本山誠



#### (株)ジャパングレイス大阪営業所

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25ハービスPLAZA3F  
TEL:06-7661-2280(10:30-18:30 定休/日祝) FAX:06-7661-2281(24時間受付)  
総合旅行業務取扱管理者:松井美緒・松木健介

### 【旅行企画・実施】株式会社ジャパングレイス

観光庁長官登録旅行業第617号 一般社団法人日本旅行業協会 正会員  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13 URL:http://www.japangrace.com

<個人情報利用目的>(株)ジャパングレイス及びNGOピースボートでは、お客様の個人情報を契約の履行、当社からの商品・サービスのご案内、及び当社内における調査・研究資料として利用させていただきます。

### Coordinated by: PEACE BOAT ピースボート

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1  
TEL:03-3363-7561 FAX:03-3363-7562 http://www.peaceboat.org